

# 平成 28 年度 第 8 回庄内町議会町民と語る会報告書

平成 28 年 6 月 20 日  
全 員 協 議 会

## はじめに

庄内町議会は、町民に開かれた議会及び積極的な町民参加を推進することを目指し、平成21年度から「議会報告会」を開催しております。平成25年度からは、より町民主体の会になるよう「町民と語る会」に名称を改め、今年度については5月20日から24日にかけて各学区等において開催しました。今回は「役場本庁舎整備について」をテーマに話し合いを行いました。

議員が町内の各学区等に出向いて、議会活動状況や課題の取り組み状況等について報告するとともに、町民から議会活動に対する意見、町政に対する提言等をお聴きし、町民の皆さんと有意義な意見交換ができたものと思っております。

町民と語る会で出された意見・要望等を今後の議会活動につなげ、議会運営の改善を図るため、次のとおり報告します。今後とも、町民と議会との交流の場を通し、町民に開かれた議会、町民に信頼・期待される議会を目指してまいります。

## 1 開催状況

開催日	開催時間	開催会場	参加人数	担当班
5月20日(金)	19:00~21:00	余目第一公民館	20人	1班
	19:00~21:10	余目第四公民館	20人	2班
5月23日(月)	19:00~21:00	清川公民館	24人	2班
		狩川公民館	6人	3班
	19:00~21:20	余目第二公民館	19人	1班
5月24日(火)	19:00~21:00	立谷沢公民館	10人	1班
		余目第三公民館	16人	3班
合 計			115人	

- 1班 小林 清悟 (班長)、澁谷 勇悦、五十嵐啓一、上野 幸美、村上 順一
- 2班 石川 武利 (班長)、吉宮 茂、齋藤 健一、國分 浩実、工藤 範子
- 3班 石川 保 (班長)、齋藤 秀紀、押切のり子、鎌田 準一、小野 一晴

## 2 役場本庁舎等整備に対する主な意見・要望等

**質問1** 新庁舎の窓口業務など、今後の高齢化社会を考えてワンフロアで用事がたせるような庁舎にしてほしい。新庁舎の中に老人福祉センターを入れるか等どのように考えているのか。(一公・1班)

**回答** 町民の利便性を考えるとワンフロアが望ましい。老人福祉センターも手狭で老朽化しており町に要望書が提出されている。

**質問2** 新庁舎ができれば、立川庁舎の職員数はどのくらいと想定しているのか。新庁舎はイメージ的にどのくらいの建物になるのか。(一公・1班)

**回答** 立川庁舎は、現在ある教育委員会と建設課は新庁舎に移行し、行政窓口と高齢者福祉関係の業務は残すと説明を受けている。新庁舎は、4階建てで現在の庁舎南側に建設し、完成後は現在の庁舎が駐車場になる予定である。

**質問3** 今回説明された庁舎建設計画は決定したのか。(二公・1班)

**回答** 大まかな概要として提案されているが、町民の声、意見が反映できるよう議会として対応していく。

**質問4** CM方式はコストダウンに繋がるのか、またメリットはあるのか。(二公・1班)

**回答** 町は、どのようなコスト削減に繋がるかは明確にしていないが、CM会社は、より専門的な知識を持って発注者の立場で、工事発注方式、工程管理、品質管理を行っていくとの説明である。

**質問5** 立川庁舎の機能と活用について立川地域住民と話し合いは行っているのか。(二公・1班)

**回答** 本庁舎整備事業を進めるにあたって、団体や地域ごとに懇談会を実施している。

**質問6** 職員数や利用者の利便性を考えると、4階建てでなく低層階の方が良いのではないか。(二公・1班)

**回答** 現在の西庁舎側の駐車場に建設を予定しているが、規模的に想定される総床面積が4,600㎡になる。また、駐車場の確保も含め4階建てを想定している。

**質問7** 町は、公設直営方式で事業を進めるが、民間活力とコスト削減を考えると、PFI方式の方がメリットあるのではないか。(二公・1班)

**回答** 事業の財源は合併特例債を活用するうえ、工事期間の短縮から公設直営方式とする予定である。

**質問8** 新庁舎建設の内容説明で、立川庁舎職員を引き上げられると住民生活が不便になる。立川庁舎の今後の活用はどうするのか。また、CM方式ですべてをマネージャーに任せるやり方で大丈夫なのか。(立谷沢公・1班)

**回答** 窓口業務と老人福祉に関する業務を立川庁舎で対応し、余裕スペースに運動器具などを設置し健康増進に有効活用する説明を受けている。CM方式は大丈夫なのか、本当に機能するかも含め議会としてチェックしていきたい。

**質問9** 新庁舎建設に木造を採用する可能性はないのか。(立谷沢公・1班)

**回答** 高層階になること、コストがかかることなどから、町は、鉄筋コンクリートを考えている。木造というより木質化を念頭に地元産材を活用していくよう議会としても要望していく。

**質問10** 新庁舎は狩川方面のことを考慮すると、第4学区付近に建設できないのか。(四公・2班)

**回答** 本庁舎等整備計画案では、新たに土地取得する費用が不要となり、中心市街地の区域にある警察署、商工会、病院などが近く、公共性があり利便性が高いことから、現在の予定地に決まった経緯がある。

**質問11** 新庁舎の面積、職員数が増加するのはなぜか。(四公・2班)

**回答** 立川庁舎など現在職員が分散しているので、集中管理をして行政効率を高めるためである。

**質問12** 新庁舎は防災拠点という意味もあるので建設賛成ではあるが、最近の傾向として箱物行政にもどったような感じがある。(四公・2班)

**回答** 老朽化、改修などのタイミングが近いという事もある。

**質問13** 立川庁舎はそのまま残すのか。業務が縮小し、窓口業務だけとなると空き部屋などがかなり出て、維持費だけでも相当な額となるのではないか。閉庁、解体も視野に入れないのか。

**風車市場も道の駅にするのは無駄に思う。(四公・2班)**

**回答** 立川庁舎、風車市場の件は町に伝える。

【町回答】 本庁舎整備に伴い整備基本計画においては、立川庁舎の窓口機能等の確保や、余裕スペースの活用方法として、既存施設の活用方針を示しています。今後、行政サービスの維持を基本に、地域特性や周辺環境等を考慮しながら、有効な活用方法を検討していくこととなります。

「道の駅」は、道路利用者の休憩、情報提供、地域連携の場として、通過する道路利用者へのサービスや農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性、魅力を活かした様々な取組みをするものです。本町は山形、宮城地方からの国道47号のルート上の東の玄関口に位置する地理的条件と日本で初めて本格的に風力発電に取り組んだ町の田園の中に風車群が連なる姿、風車群を眺望できる環境にあり、前述の機能に加え、「地域の拠点機能の強化」と「ネットワーク化」を重視し、「道の駅」自体が目的地となるように取り組むものです。特徴としては次の三点があげられます。ご理解とご協力をお願いします。

① 【地域連携機能】(産業振興と雇用の場確保)(高齢者の安全・安心、生きがい支援)

産直、農村レストランによる産業振興、雇用の場確保、ひとり暮らしの高齢者のための見守りネットワークづくりで地域振興と福祉の拠点

- ② 【情報発信機能】(庄内地方のゲートウェイ)(町の交流人口の拡大)  
庄内地域のゲートウェイとして庄内地域全体の観光案内と特産物販売、町内着地型観光推進のためのガイド事業で交流人口の拡大
- ③ 【防災拠点機能】(緊急時の避難所、情報収集支援)  
一般国道 47 号の休憩施設であると共に、全面通行止め時など災害時、緊急時の防災拠点として位置づけ

**質問 14** CM 方式について見たり聞いたりしているが、何が有利なのかが良く分からない。(四公・2 班)

**回答** これまで職員が出来なかった管理的なことを CM 業者に依頼することで、資材調達や工程管理がスムーズに行われると聞いている。コストについても縮減に努めるとしている。

**質問 15** 現庁舎は新潟地震などにも遭遇し耐えた建物なので、一定のダメージがあり早期建設には賛成。ただし液状化などが心配。(清公・2 班)

**回答** 調査をしたうえで候補地を選定した。パブリックコメントなども参考にして町民が求める形にしていきたい。

**質問 16** 旧大中島小のように、数年で廃校になるようなもったいない事態にならないように庁舎建設には議会として厳しい目でチェックしてもらいたい。(清公・2 班)

**回答** 議会としても注視していく。

**質問 17** 本庁舎は災害時の拠点になる。どのような施設にするのか町民の声をもっと広く聞くべきではないか。(清公・2 班)

**回答** 今後も町民の皆さんから議員に伝えていただくことや、その都度パブリックコメントなどもあると思うので対応していきたい。立川庁舎も間もなく 40 年を迎えるので、老朽化が目立ってきた。町民の意見も聞きながら利用方法を考えたいので広くアイデアを出してもらいたい。

**質問 18** 新庁舎は震災のことを考えると早期に建設すべき。議会も町と連携してより良い庁舎になるよう努めてもらいたい。また、立川庁舎内に雨天時、冬期間に子供たちが時間を過ごせるスペースを作ってもらいたい。(清公・2 班)

**回答** 町民が使いやすい庁舎になるよう、我々も意見を伝えていきたい。  
立川庁舎には空き室が出来るわけなので、子供が利用できるスペースというのはいいいアイデアだと思うので検討するよう町に伝えていく。

**【町回答】** 本庁舎整備に伴う整備基本計画においては、立川庁舎の窓口機能等の確保や、余裕スペースの活用方法について方針を示しており、その活用手法等については、地域住民の意見集約を前提に、具体的な内容を判断していきたいと考えています。

**質問 19** 新庁舎建設は予定額で可能なのか。(清公・2 班)

回 答 可能にするために町ではCM方式を取り入れている。

**質問 20** 清川地区の拠点づくりをしてもらいたい。(清公・2班)

回 答 本庁舎等整備基本計画案では清川出張所は地域住民が集い、活動する場として維持していくことになっている。

**質問 21** CM方式を採用し建設を行った庁舎を、議会では視察しているのか。(狩公・3班)

回 答 県内では本町がCM方式での建設が初めてのため、視察先の選定や6月で常任委員会のメンバーも変わるため、調査をすべきか議会としてこれから対応を考えていく。

**質問 22** CM方式を採用すると、建設費の経費削減につながるのか。(狩公・3班)

回 答 秋田県二ツ井町のように成功例もあると聞いているが、必ずしも経費削減と工期短縮につながったと言う事例だけではない。総合的にCM方式が本当にいいのか、どのようにCM業者の選定をするのか等多くの課題もあり、議会としてこれから検討して行きたい。

**質問 23** CM方式を専門にしている事業者は、近隣にいるのか。(狩公・3班)

回 答 都市部には多いが、近隣には少ないと聞いている。

もしCM方式を採用することになれば山形県では初めてのことなので、町でもこれから調査することになる。

**質問 24** 庁舎建設の際には、地元業者が優先的に参入できるシステムにしてほしい。(狩公・3班)

回 答 町でも業者の格付けによってはどれだけの受注が可能かなどの課題もあるなか、どのような方法がいいのかを検討しながら、地元業者をできるだけ利用したい考えは持っているようである。議会としても検討して行きたい。

**質問 25** 庁舎建設の際に内装は地元産材を活用したいと思っているが、木材が足りない場合は温海などの庄内産を利用するとの説明があった。しかし、地元産材とは町有林だけでなく民間の木材も含めたものであり、それらを調査したデータを町も議会も持っているのか。(狩公・3班)

回 答 まだ設計が決定してないこともあり、庁舎建設のための地元産材がどれくらいの量が必要なのか把握していない状況であり、議会にも説明を受けていない。また、議会としても地元産材の量がどのくらいあるのかと言うデータを今はもっていない。時期的な制限もあるのでどこまで調査できるかは未定である。尚、町にも伝えていく。

【町回答】 地元産材の庁舎整備のための必要量については、今後、基本設計が確定することにより、その概算が把握できるものと考えています。また、本町にある活用可能な木材については、農林課や森林組合との連携の下、その把握に努め、基本設計確定後の実施体制において万全を期す予定としています。

**質問 26** 庁舎が予定されている建設現場は、庁舎周辺が都市計画道路になっているにもかかわらず、未だ整備がされていない。防災対策のためにも庁舎改築の際に、周辺道路を整備すべきではないか。(狩公・3班)

**回答** 庁舎建設と同時に災害時にも対応できる周辺道路の整備については、議会でも話し合いをした経緯はない。意見として町に伝えていく。

**【町回答】** 本庁舎周辺の都市計画道路は、住宅地を通る計画のため移転補償費を含む事業費が巨額となることから、整備はなかなか難しいと考えており、町道については、現在のところ整備予定はありません。今後、災害等に対応できる、また庁舎へのアクセス道としての町道について、本庁舎整備担当課と協議しながら、整備を検討していきたいと考えています。

**質問 27** 本庁舎の職員が 170 人となっているが、立川庁舎からすべて本庁舎に異動になるのか。(狩公・3班)

**回答** 狩川保育園・幼稚園、清川保育園、立谷沢・清川の出張所などは今までどおり残ることになるが、職員を削減しながら、保健福祉課・教育委員会・商工観光課などの課は、基本的に本庁舎へ異動すると町から聞いている。

**質問 28** 立川地域は商店なども減少傾向にあり、また、高齢化も進んでいる。職員の異動で、手続きをするのに不便にならないように配慮してほしい。(狩公・3班)

**回答** 今までの窓口は当然残るようになるが、不便にならないよう配慮はすべきと思われる。

**質問 29** CM 方式、周辺道路の改善の進捗状況などについて、町民に対してまだ説明が足りていない。庁舎建設の計画が駆け足過ぎるのではないか。(狩公・3班)

**回答** 平成 32 年までの合併特例債を活用しての建設となるため、庁舎建設の説明が駆け足になっているが、議会としては限られた時間で議論を尽くしていきたい。

**質問 30** 本庁舎建設の計画は合併特例債の延長になる 5 年前から、論議された経緯はないのか。(狩公・3班)

**回答** 一般質問などで庁舎建設への後押しはしてきたが財政的なこともあり、子ども達の安全を確保するため、学校施設の耐震事業を最優先に取り組んできた。また、合併時に庁舎建設には触れないとの取り決めがあったことも、建設が遅れた要因にもなっている。

**質問 31** 本庁舎建設は災害時の防災対策を考慮すれば必要な事業である。財政が苦しい状況にあることは分かっているのに、なぜ、八幡スポーツ公園・駅前整備・町湯事業などを先に実施してきたのか。

また、これから、合併特例債の延長は見込めないのか。(狩公・3班)

**回答** 財政を考慮しながら、国の有利な補助金や起債を活用し事業を実施してきたため、庁舎建設より早い整備となっている。

合併特例債のこれ以上の延長は見込めない。

**質問 32** 本庁舎建設後の立川庁舎の活用方法は、検討されているのか。狩川地区の子どもたちの学童や子育て支援で利用している施設は大変狭く、これを機会に、立川庁舎の2階・3階を子どもたちの支援活動の施設として利用してはどうか。(狩公・3班)

**回答** 子育て支援、教育支援など、立川地域からの提案次第でいろいろな事業に活用できると思われる。町にも伝えていく。

【町回答】 立川庁舎の利活用及び管理については、本庁舎の整備計画や事務機構の見直しと合わせて検討していきます。

立川保健センターで実施している学童保育所(さんさんクラブ)は、年々児童数が増加している状況にあり、立川庁舎2階を利用して実施することは、広いスペースでの活動となり児童の安全等が図られると考えられます。しかし、1階では窓口業務等が行われるため、遊びの活動では子どもたちの声等に対して制限されること等が考えられますが、施設利用としては有効だと思われます。そのほか、子どもの活動支援として、現在実施している中学生の「夢サポート塾」を拡大し、パソコン等が設置された、小中高校生等が常時利用できる学習・交流スペースとして利用することも考えられます。

**質問 33** 議会では庁舎建設の特別委員会を立ち上げる予定はないのか。(三公・3班)

**回答** 町との意見交換は行っているが、現時点で特別委員会を立ち上げる予定はない。

**質問 34** CM方式は全国的にも普及していないが、導入するのは妥当なのか。(三公・3班)

**回答** CM方式については、ある程度の説明は受けているが、多額の経費の支出に見合うだけの費用対効果が期待できるかなど、納得できる説明がなされていない。今後、町と議会との意見交換会も予定されており、引き続き調査していきたい。

**質問 35** 大型箱物建設が続いているが、財政状況について議会はどのように考えているのか。(三公・3班)

**回答** 庁舎建設は合併特例債を活用する予定である。財政に関しては厳しい状況になると思うが、議会でも十分精査する必要があると考えている。

**質問 36** 新庁舎建設については賛成だが、庁舎は「まちづくり」の拠点でもある。庁舎へのアクセス道路についても重要ではないか。この機会に中心市街地(旧国道47号線)の歩道等の確保については車道幅を狭くしても確保して頂きたい。(三公・3班)

**回答** 県道になるが、歩道と民家(商店)の境が明確でなかったり、難しい課題もある。町に伝えたい。

【町回答】 県道余目温海線歩道改良について、継続して県に要望しております。県へ働きかけるためにも地元の意見がまとまっていることが必要なことから、県道沿線の集落や商店会等関係団体との協議の場をつくり、地域として相談し、要望し

たい道路についての意見をまとめて、県への要望へ繋げていきたいと考えています。

**要望** 新庁舎建設時、基礎工事を頑丈にすると思われるが、騒音と振動についてまわりに影響がないように配慮してほしい。(一公・1班)

**意見1** 立川庁舎の機能が本庁舎に移れば、自宅を余目地区ではなく酒田市に移転する人が出てくる。(二公・1班)

**意見2** 設計管理料が事業規模からして、高く予算計上されている。精査するべきである。(二公・1班)

**意見3** 町民にも喜ばれる良いものを造ってほしい。(二公・1班)

**意見4** 町民の意見を反映させた新庁舎の事業になるようにしてほしい。(二公・1班)

**意見5** CM方式の事業者選定は、不透明な選任にならないようにしてほしい。(二公・1班)

### 3 議会に対する主な意見・要望等

#### 消防署立川分署・辞職勧告

**質問1** 消防署立川分署の入札では大きな問題を提示したと思う。そのことは、町の契約に関する規約や地方自治法などに違反しないのか。また、入札情報の開示請求をしたら資料を廃棄したということがあった。おかしいのではないか。あわせて工藤議員に対してなぜ辞職勧告を言い渡したのか。(一公・1班)

**回答** 議員としての基本的行動指針は、議会基本条例、議会議員政治倫理条例に基づいて判断している。工藤議員については、マスコミに情報提供した文中に、「業者に押し付けた」「町長が予定価格を改ざんしたと推測される」の文言があったこと、また情報提供した情報の開示を求められた時、別の物を出したことを問題とし判断した。

**質問2** 消防署立川分署入札問題で、町の不正を追及した議員が辞職勧告を受けたことは、納得がいかない。議会や議員の町政に対する立ち位置、考えはどうか。(二公・1班)

**回答** 辞職勧告に至った経緯は、工藤議員の調査不足と、私見を加えた内容でマスコミに情報提供したこと。また、町からその文書の提出を求められたが別の内容の文書を提出したことによる。

**質問3** 町は今回の入札について問題はないとしているが、議会は町の入札についてチェック機能を果たしているのか。(二公・1班)

**回答** 議会はチェック機能を果たしている。

**質問4** 工藤議員の処分に対して、同僚議員としてかばうことはできなかったのか。(二公・1班)

**回答** 議員活動の立ち位置として、町民の幸せと住みよい町づくりを目指している。工藤議員も入札問題について別の方法で町を質すことができたのではないか。

**質問5** 消防署立川分署の入札に絡む件で、工藤範子議員が辞職勧告を受けたが、町の間違いを質した議員が勧告を受けるのは議会のチェック機能が働いていないからではないのか。(四公・2班)

**回答** 入札問題と辞職勧告はイコールではない。工藤議員らが町からの回答書類の自身をきちんと調査を実施せず、町長が改ざんしたと推測のまま文書をマスコミに提供したことが倫理条例に反すると判断されたものである。

**質問6** 議員の辞職勧告は、本会議で議決すべきではないか。(四公・2班)

**回答** 今回は、庄内町議会議員政治倫理条例に基づいて決定した。

**質問7** 立川分署入札で、予定価格を入れ間違えた職員や執行者の処分等について精査したのか。(三公・3班)

**回答** 処分は嚴重注意だと聞いている。町長は、謝罪するとすれば広域行政組合が先

で、次に町民への謝罪になるとしている。6月で1年となり、町から何らかの見解や対応が示されると思っている。

**質問8** 工藤範子議員に対する辞職勧告は、早計で間違っていないか。町の対応を質するのが先で議会は検証したのか。(三公・3班)

**回答** 政治倫理条例にのっとり、措置した結果である。審査会でも当局からの聞き取りをおこない事実を確認しており、工藤議員の町に対する追及の姿勢を問題視しているのではない。十分な精査をしないままマスコミにリークした行為等に問題があったと判断した。

**意見1** 職員が2人処分されたそうだが、何で処分されたのか。また、町長からの間違いについての説明、謝罪はあったのか。町長としての責任は大きく説明があるべきである。町長の説明なしに議員への辞職勧告で終わってしまったのか。そのことは今後の議会にマイナスと思う。(一公・1班)

**意見2** 今回の入札問題と議員辞職勧告により、議会に不信感を抱いた。(二公・1班)

**要望1** 工藤議員の辞職勧告撤回を要望する。(二公・1班)

**要望2** 一連の入札問題の不信感を払拭するため、議員全員と町民による公開討論会を行うべきである。(二公・1班)

## 語る会

**質問9** 語る会は年に1回だが、清川公民館で開催されるにもかかわらず、清川の問題がメインテーマにならないのはなぜか。この先、地域が疲弊していく事に議員は無関心なのか。地域活性化、人口減の歯止めなどの具体案を示してほしい。(清公・2班)

**回答** 歴史公園構想なども掲げ、地域の振興には一定の考えをもってあたっている。味覚マラソンなども開催し、清川、立谷沢の活性化にもつながると思う。

集落連携なども視野に入れ、行政頼みだけではなく地域全体で考えを持ち、町や議会に伝えていく事も必要だと考える。行政が「何をしてくれるのか」ではなく、地域住民から声を上げてもらいたい。

**質問10** 毎年この会に参加しているが、今年は観光協会の総会と重なったため参加できない方もいた。同じ町内の団体でなぜこのようになるのか。連携を強化してもらいたい。(清公・2班)

**回答** このような事態は双方の都合でこれまでもあった。互いに情報を共有できるようにしたい。

**質問11** 語る会に出席して意見を言っても、町まで届いているかどうかよくわからない。(三公・3班)

回 答 質問や意見は議会として報告書としてまとめ、公民館等でも閲覧できるようにしている。町への質問には、内容を正確に伝え、回答も頂いている。

### 議会広報掲載事項

**質問 12** 議員の質問で、「歴史公園構想が今後住民の負担になるのでは。」とあるが、どのような意味なのか。(清公・2班)

回 答 高額な事業費を投入して後に「負の遺産」にならないか心配でのことだと思う。しかし清川地区の活性化には必要な事業だと思っており、今年度の予算に盛り込んだものである。

**質問 13** 議員の一般質問で、第四公民館における町外利用者に対して無料でいいのかとあるが、どういうことか。(三公・3班)

回 答 他市町村の利用者が増え、無断キャンセル等で地元利用者に迷惑をかけることも増えた。冷暖房費徴収等でトラブル件数が軽減されるのではとの申し出もあり、町の考え方、対応を質した。

**意見 3** 他市町村の施設利用は我々も同様に無料で借りている。僅かの金額を頂戴するために、高額な予算を計上した事例もあり、お互い様なので柔軟に考えて頂きたい。(三公・3班)

**意見 4** 議会だよりで、予算、決算特別委員会の問答が短すぎて内容が分からない。(二公・1班)

### その他

**質問 14** 本庁舎建設や歴史公園構想などの大型事業があるので、財政シミュレーションをしっかりと注視すべきではないか。(四公・2班)

回 答 議会としては注視し、町に伝える。

【町回答】 財政シミュレーションの作成にあたっては、将来における行政サービスの可能な財政規模を明らかにし、第2次庄内町行財政改革推進計画に基づき財政の健全化の維持に努めながら、本町の持続的発展のため自立した行財政運営の確立を目指していきます。

**質問 15** 清川体育館の雨漏りは議会として認識しているのか。現状では濡れた場所を雑巾がけするなどして対応しているが、滑って転倒けがを負い入院する事例もある。災害時の避難場所としての役割もある施設なのにこのままでいいのか。担当課に伝えても改善が見られない。新しい施設が欲しいとは言わないが、せめて改修してもらいたい。(清公・2班)

回 答 避難場所として指定されていることもあるし、味覚マラソンの際にも使用が考えられるので、早急に町に伝えたい。

【町回答】 ご指摘の清川体育館の雨漏りについては、昨年12月3日に報告を受けましたが、高所作業車を清川グラウンド内に乗り入れ、作業員が目視で状況確認、修繕作業等を行う必要がありますので、既に降雪期に入り実施できない状況にありました。このため、本年度に雪解け及び清川グラウンドが車の乗り入れ可能な状況になるのを待ち、5月20日にその状況を確認のうえ、屋根の棟部分にコーキング処理を実施しました。また、この対応については、清川地区振興協議会長に連絡しています。

**質問16** 議員報酬が活動日数などに比較して低いと思う。他町村と比べても低いので若い人が手を上げないのではないか。上げた方がいいと思うがどうか。(清公・2班)

回答 議会で要請したが、報酬等審議会は、町長の専権事項であるため、開催されず今日に至っている。現在の報酬では若い方々が手を上げられない。今後も検討していく。

## 4 町長部局に対する主な意見・要望等

### 危機管理

**質問1** 余目の活断層はどのようになっているのか。もし庄内町で震度7の地震が発生した場合どう対応するのか。(一公・1班)

**回答** 国土地理院が推定活断層として公表している。地震発生時は、地域防災計画に則って災害対応するよう定められている。日頃からの自主防災組織の活動が大切になる。

**質問2** 防災行政無線の整備状況はどうか。(一公・1班)

**回答** 立川地域の防災行政無線をアナログからデジタル化への移行を実施している。立川地域では個別受信機なども検討されている。

**質問3** 防災無線放送の際は、地名を詳しくしてもらいたい。肝煎の中でも多数の集落がある。分かりにくい。(清公・2班)

**回答** 同じような意見が複数あったので、町に伝える。

**【町回答】** 防災行政無線の緊急放送(火災)については、システムが小字名登録であり、通報を受けると、消防本部で地名と火災の種類を選択して、合成音声により放送することになります。災害発生地が集落名の判別が困難であること、集落名の登録に改修するにはかなりの経費を要することから、現状では小字名と火災種類の放送となっています。

**要望1** 第一公民館は、避難場所になっているが、駐車場の出入口が一カ所しかないので検討してほしい。(一公・1班)

### 道の駅(風車市場)

**質問4** 道の駅事業は、高規格道路との関係で現在の場所でいいのか。(二公・1班)

**回答** 古口から庄内町までのルートはまだ示されていない。全線開通まで時間を要することから、現在の場所で運営していく。

**質問5** 風車市場の件は、廻館道路が完成し、その後地域高規格道路が全線開通したら交通量が減り、利用者減にならないのか。(四公・2班)

**回答** 現在、風車市場は年間約21,000人利用。交通量は1日約6,000台。新設するレストランでの利用者増を図り、出店会員数も増やし品ぞろえを充実させる。ただ待つだけでは利用者増につながらないので、地域活性化の拠点となるべく関係者で来客増に努力するので理解して頂きたい。

**意見1** 今秋完成する道の駅は、高規格道路とどう関連するのか。高規格道路から降りられるようにすべきである。(一公・1班)

## 消防署立川分署入札

**質問6** 立川分署入札の予定価格を書き間違えたことは、考えられないミスである。書類をシュレッダーにかけ廃棄処分した行為は、法的に問題ではないか。(三公・3班)

**回答** 町は、撤回後の入札書類は保存されており、公定力により撤回した以前の文書は必要ないとしている。また弁護士にも確認し、廃棄処分についての違法性はないと判断しているようだ。

**意見2** 入札を明確化するため条例を作るべきである。(二公・1班)

## 立谷沢地区

**質問7** 将来的に立谷沢出張所の職員引き上げの話聞いたがどうか。(立谷沢公・1班)

**回答** 職員引き上げについては議会に報告はない。立谷沢公民館は、今後耐震補強などリニューアルを考えている。

**質問8** 立谷沢地区には、町有施設財産が多くある。旧立谷沢小学校教職員住宅は、解体も含めどのように考えているのか。(立谷沢公・1班)

**回答** 公共施設等の解体は、老朽化しているものから除却債等有利な起債を使って対応を考えており、跡地利用も含めて検討している。旧立谷沢小学校教職員住宅は、境界がはっきりせず売却できない状態にある。

**質問9** 2月に行われた「龍神冬まつり」のテレビ放映を、事前に町民に知らせることができないのか。また、広報に掲載する配慮をすべきでなかったか。(立谷沢公・1班)

**回答** PR効果もあり、丁寧な対応をするように伝える。

**【町回答】** 2月20日(土)の「龍神冬まつり」について、さくらんぼテレビが毎週土曜日の昼12時から放映している「昼ドキ!TVやまがたチョイス」のお出かけ中継隊というコーナーで放映されました。このコーナーは、イベント会場や週末に足を運びたいくなるような旬なスポットを紹介するもので、テレビ局からは放映日の約10日前に電話で打診があり、4日前に放映するかどうかも含めた打合せをテレビ局関係者と冬まつり実行委員会で行いました。この度のような特集報道以外の時事的なニュースは、取材から放送(放映)までの時間的な余裕がないため、基本的に広報による周知は不可能な状況でしたが、2月16日付け「月の沢温泉北月山荘フェイスブック」で、放映されることを投稿しており、今後もイベント担当課等によるホームページ、フェイスブック等を活用した情報の発信に努めます。

**質問 10** 簡易水道は、来年度から上水道と一本化する予定である。説明会の要望をしているがまだである。説明会をやるべきである。(立谷沢公・1班)

**回答** 簡易水道維持管理組合の説明会は行ったが、末端の住民まで伝わっていない。丁寧な説明をするよう担当課に伝える。

**【町回答】** 上水道との統合に向け、簡易水道連絡協議会と連絡調整して、準備(メーター設置等)を進めています。

現在、上水道の加入申し込みと口座振替依頼書の提出をお願いしていますが、その説明については、簡易水道連絡協議会での協議の中で、町が詳細な依頼文書を配布し、各行政区長が各納税組合の寄り合い日に説明することとなりました。

統合後の各施設の維持管理業務について、これまでどおり地元へ委託する部分もあるので、簡易水道連絡協議会との合意を得てから、周知とご協力をお願いを目的とした説明会を計画していきたいと考えています。

**質問 11** 立谷沢地区振興会では、年一回国土交通省に中央陳情を行っている。職員派遣経費の予算化が難しいと言われているが、今後も継続して予算化してほしい。(立谷沢公・1班)

**回答** 国・県への要望活動は、本来町の仕事でもあり担当課である建設課職員が同行できないか町に伝える。

**【町回答】** 立谷沢地区振興会が行っている中央要望については、立谷沢地区振興会の事務担当部署である立谷沢出張所が対応しています。建設課職員の同行については、その必要性があるとすれば同行のための予算確保に努めたいと考えます。

**質問 12** 立谷沢に縁ある「徳尼公伝説」を、そば街道、北月山荘などに生かしてはどうか。また、そば街道はどうなっているのか。(立谷沢公・1班)

**回答** 地域の意欲ある方々で旧保育園などを活用してそば街道をやったらどうか。

**質問 13** 地域おこし協力隊が6月1日から入るそうだが、北月山荘に住むと聞いた。地域に入ってこそ地域おこし協力隊なのではないか。(立谷沢公・1班)

**回答** 女性1人男性1人で、女性は北月山荘に住み男性は商工観光課に席を置くそうである。

**質問 14** 立谷沢川流域の美味しい水、綺麗な水を前面に押し出して振興を図ってほしい。この環境を次世代にも残してもらいたい。(清公・2班)

**回答** 名水百選にも選ばれている。この環境を大事にしていく事は町の考え方とも一致している。

**要望 2** 大中島保育園の解体はいつ頃か。集落では水道関係、神社の修理を予定しているため、工事がダブらないようにしてほしい。(立谷沢公・1班)

**その他**

**質問 15** 課税家屋の現況調査を 18 年度から実施しているとあるが、進捗状況を聞きたい。また、その調査は無償なのか。(一公・1 班)

**回答** 議会では報告を受けていないが、課税目的の調査と考え個人負担は無いものと思う。

**質問 16** 温泉利用券は現在の方式では利用しづらい。今年はまた後退したような気がする。利用者の立場に立って考えてもらえないのか。

**町湯に魅力を感じない。(四公・2 班)**

**回答** 使いづらい部分は担当課などに伝えておくが、検証に時間がかかっていることも理解してもらいたい。

町湯についてもまだオープンしてから何年もたったわけではないので、改善しながら魅力ある施設になるよう伝えていく。

**【町回答】** 高齢者福祉温泉等利用事業については、高齢者の健康保持及び社会参加を促進することを目的にこれまで実施しています。本来の目的に沿った事業となるよう、今年度の利用状況を精査するとともに、住民アンケートや温泉事業者、理美容事業者の方々のご意見を参考に、今後の事業のあり方を総合的に検討します。

まちなか温泉の運営に当たっては、稼働してはじめて見えてくる課題が、その都度生じてくることもあります。今後とも、誠心誠意お客様の様々な声に耳を傾け、指定管理者と連携を図り、利用者の満足度を高めていけるよう、創意工夫しながら改良に努めます。

**質問 17** クラッセはオフィス棟をオープンさせる際、庄内のシリコンバレーにしたいとの意気込みだったが目的は果たされていない。レストランについても同様、当初の目的は何だったのか。夜間休業はなぜなのか。(四公・2 班)

**回答** オフィス棟の件に関しては議会では今後も入居者増、雇用増を求めていく。またレストランについては従業員数の関係、仕入と売り上げの関連などもあり、経営者であるイグゼアまるめの判断を一定理解するところである。ただし町にもそのままとせず、提言等するべきと伝えている。

**質問 18** 幸町から駅、国道にかかる曲がり角が鋭角で曲がりにくい。特に冬期間は危険。改善できないか。(清公・2 班)

**回答** 近隣で最近直した箇所があり、早急にはいかないかもしれないが、町に伝える。

**【町回答】** 県道立川羽黒山線と町道船見稻荷線との交差点のことと思います。平成 21 年度に地元からの要望により国道と県道の交差点改良が行われ完成しましたが、この工事において、その町道交差点も含めて改良が行われたと受け止めています。更なる交差点改良を望まれるとすれば、昨年実施しました集落要望に上がっていませんので、今後の集落要望の見直し時に、必要な土地の所有者の同意を

含めて要望されるようお願いいたします。

**質問 19** 風車村・南部山村広場にラベンダーを植栽してきたが、いずれも楽しめる状態にない。また、芝桜を植えると言う声もあるが、特徴としては日光には強いが雑草には大変弱いと言う欠点があると聞いている。いずれにしても花の植栽事業は十分な管理ができないと成功しない。今後どうするのか。(狩公・3班)

**回答** 町の花づくり植栽事業にラベンダーを取り入れ、3年養成株をラベンダー畑に移植する方法であれば成立するのではないかと聞いている。芝桜も町民の協力を得ることができれば、実現できるかもしれない。

**質問 20** 清川南町住宅が空き家になっているが、入居するには公営住宅法での所得制限があると聞いている。所得制限はいくらなのか詳しい金額を知らない町民が多いのではないかと聞いている。

また、余目の公営住宅の入居状況はどうか。(狩公・3班)

**回答** 入居条件は給与所得月額13万円以下となっている。ただし給与と所得の違いなどさまざまなケースが考えられるので、担当の建設課に問い合わせをしてほしい。

また、現在は余目の公営住宅に空きはないと聞いている。

**質問 21** 幹線バス・通学バスの代替え運転手は勤務の機会が年に2~3回ぐらいと少ないという、自前で16,000円を支払って講習を受けなければならない。町で講習費用を出すことは出来ないのか。(狩公・3班)

**回答** 町でも代替え運転手のことは把握してはいるようだが、名案がないのが現状である。年齢的な期限もあり解決を急がなければならない課題である。講習費用の件については町に伝えていく。

【町回答】 基本的に個人との委託契約であり、当該契約には代替え運転手の勤務についても含まれていると考えています。したがって、代替え勤務の際に資格不足のために必要となる講習については、受託者側の負担と判断しています。

**質問 22** 農業情勢は毎年厳しくなる。平成30年にはどんな農業になるのか。(三公・3班)

**回答** 平成30年には米の戸別所得補償がなくなる。庄内町では稲作中心からの脱却をめざし、手厚い助成制度も行っている。

**意見 3** 町はハード事業を優先しているが、社会資本の充実ではなく、人にお金をかけるべきである。(二公・1班)

**意見 4** 事業の精査、検証は行っているのか。ないままに次の事業に取り組んでいるようでは、借金が増加していく。(二公・1班)

**意見 5** 町の施設を指定管理者制度に移行しているが、指定する団体の精査を十分実施すべきである。(二公・1班)

意見6 交流人口を拡大するために、建物中心の施策では時代に合っていない。(二公・1班)